

発刊にあたって



運輸安全委員会が調査を行う事故等は、国民の皆様の生活に大きく影響するものであり、昨年は、そうした事故等が航空、鉄道、船舶とすべてのモードで発生した年でした。

航空では「広島空港アジアナ航空機事故（4月発生）」、「調布市小型機墜落事故（7月発生）」が、鉄道では「JR東日本山手線施設障害（線路上に電柱転倒）重大インシデント（4月発生）」が、船舶では「旅客フェリーさんふらわあだいせつ火災事故（7月発生）」が発生し、当委員会が調査を行っています。

一方、平成27年は、以前に発生した大きな事故の調査報告書を公表した年でもあります。船舶では平成26年1月に発生した「輸送艦おおすみ プレジャーボートとびうお衝突事故」の報告書を2月に、鉄道では平成25年9月に発生した「JR函館線貨物列車脱線事故」の報告書を1月に公表しました。また平成24年9月と平成26年6月に発生した「JR江差線貨物列車脱線事故」の報告書を12月に公表し、併せて国土交通大臣へ意見を提出しました。

こうした社会的に関心の高い事故等事案のほかにも、大小多数の事故等が依然として後を絶たないのが現状です。運輸安全委員会では、適確かつ迅速な原因究明を行うための事故等調査の充実・高度化や、事故等調査で得られた知見の情報発信を通じ、事故等の再発防止に寄与すべく取り組んでいます。

本誌「運輸安全委員会年報2016」では、平成27年に運輸安全委員会が公表した航空・鉄道・船舶の各モードにおける調査報告書の概要や、平成27年に発生し、新たに調査対象となった事故等の概要を、統計資料を交えて紹介しています。本誌を通じて、皆様それぞれのお立場での事故防止に有用な教訓を見出して頂ければ幸いです。

私自身、本年2月に運輸安全委員会委員長を拝命し、航空、鉄道及び船舶事故等の防止と被害の軽減を図る責任の重さを感じております。

今後とも、運輸安全委員会へのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成28年7月 運輸安全委員会

委員長 中橋和博